

Changes for the Better

車載用スピーカー
DS-G20



DIATONE®

for the Premium Car-Audio

DS-G20



※当社は日本オーディオ協会のハイレス定義に準拠した製品に上記ロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

より美しく、より自然に、音楽とクルマを融合させる。 振動板素材「NCV」の新たな革新へ。

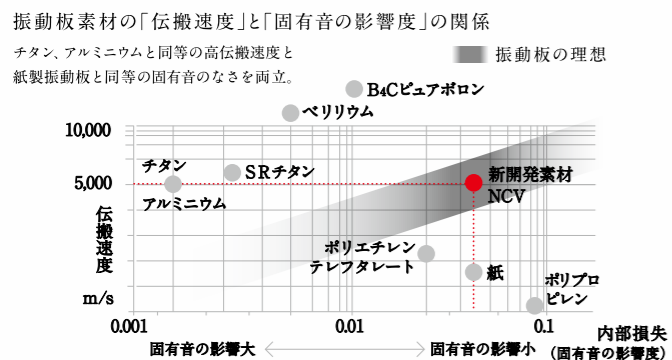
DIATONE 独自の振動板素材 NCV (ナノ・カーボナイズド・ハイベロシティ)。
その優れた性質は、スピーカーの世界に革新をもたらしました。
そして、今、DIATONE の思想である「ありのままの音を再現する」のはもちろん、
クルマにはじめから設置されていたかのような装着性を徹底追求。
もっと多くの人たちへ DIATONE サウンドを届けるために、
2Way スピーカー〈DS-G20〉が誕生しました。



トゥイーターとウーファーの振動板素材を統一。
NCV (ナノ・カーボナイズド・ハイベロシティ)



DS-G20の振動板素材「NCV」は、高音域でよく採用される金属製振動板を
凌ぐ5,000m/秒という音の伝わるスピードと、低音域でよく採用される紙製振動
板が持つ固有音のなさを両立させた、画期的な樹脂素材。そのため、トゥイ
ターとウーファーの振動板を同一素材で揃えることが可能となり、これまで困難
だった低音から超高音まで統一された音色を実現しました。
*NCV…Nano Carbonized high Velocity



どうして、同じ振動板素材がいいのか？

良質な高音と低音を出すためには、振動板素材に求められる性質が異なります。
高音の再現には音を伝えるスピードが優先されるため、金属などがよく使わ
れます。しかし金属は叩くと「キンキン」と共鳴音を発し、この音が音楽に固有の
音色としてまわりつきます。一方、低音用スピーカーはスピードの優先度が低い
ため、共鳴音・固有音の少ない紙などの素材が使われます。すると高音は「金
属」、低音は「紙」と、音色の異なる素材を組み合わせて使用するので、音色
のバランスには限界がありました。何も加えず、何も引かず、ありのままの音を再
生するためには、振動板を同一素材にすることが理想だったのです。

Woofers (ウーファー)

低音の力強さを支えるために生まれた強靱なフレーム。
HD フレーム

ウーファーには、樹脂でありながら高い剛性を実現し、しかも叩いても鳴らない高密度の「HDフレーム」
を採用。アルミニウムなどの金属製フレームと比べても遜色なく低音再生を支えます。
*HD…High Density (高密度)

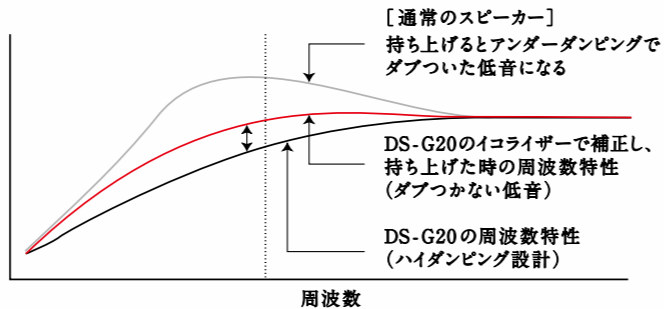


大型フェライト磁石で、パワフルでクリアな低音を再現。
低磁気歪大型フェライトマグネット

革新の超低音を生み出すサブウーファー〈SW-G50〉の技術を活かした大型フェライト
磁石を採用。強力な磁力と低歪みを両立することで、良質な低音再生を実現します。

車室特性を活かしたハイスピードで歯切れのよい低音を実現。
ハイダンピング設計

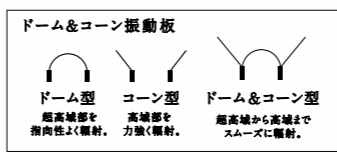
強力な磁力により、立ち上がり立ち下りの性能を大幅に向上。ダブつきのないス
ピード感あふれる低音を再生します。低音が上昇しやすい車室特性から、イコライ
ザーを併用して低域の量感と質感の両立を図りました。



Tweeter (トゥイーター)

力強く指向性のある高域をスムーズに再生可能。
ドーム&コーン振動板

超高域部を指向性よく出すドーム型
と高域部を力強く出すコーン型。2つ
の構造を一体化することで、15kHzか
ら60kHzという超広帯域に至るまで、
スムーズに再生します。



音の密度をさらに高めるスタンドを付属。
トゥイータースタンド

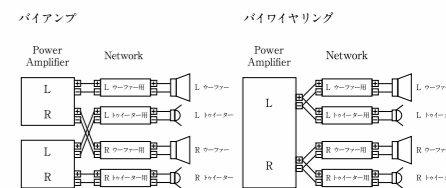
トゥイーターには、ダイレクターを一体化した専用
スタンドを付属。トゥイーターの簡単設置に加え、ダイ
レクターの効果で音楽のダイナミズムを引き立て、
リアリティが高く、実感感のある音場を実現します。



Network (ネットワーク)

多彩なシステム設計や設置の自由度まで配慮。
小型化&独立筐体方式

トゥイーター用とウー
ファー用の筐体を独立さ
せ、バイアンプやバイワ
イヤリング接続に対応。さ
らに、小型化することで、
わずかなスペースでも設
置しやすくなりました。



音のためにこだわり抜いた素材を採用。
高音質パーツ

従来の2倍となる導体厚70ミクロンの基板を採用。また、徹底的な試験を繰り返し
開発された、高音質ハンダ「DIATONE SOLDER」を使用するなど、素材ひとつ
ひとつにもこだわりました。

Installation (取付)

クルマへの取り付けやすさを徹底追求。
シンプル取付

純正スピーカーから、DS-G20へスムーズに付け替えるため、サイズにもこだわりました。ウーファー*
は取付径ネジ寸法を直径155mm(穴径139mm)、奥行60mmにすることで、多くのクルマ
でインナーバッフル取付が可能になりました。トゥイーターは、直径39.5mm、奥行21mmと
小型設計にすることで、純正スピーカーのトゥイーター位置への取付も容易に。もちろんツイ
ータースタンドによる設置も簡単です。また、ネットワークも小型化したことで、設置場所を選ば
ことなく、シンプルな取付でDIATONEの高級なサウンドを楽しむことができます。
*ウーファーのインナー取付について…市販のバッフルボードでは、17cmタイプをご使用願います。



音にこだわりを持つ人の証。
2種類の
「DIATONE バッジ」を同梱。



※当社は日本オーディオ協会の
ハイレゾ定義に準拠した
製品に上記ロゴを冠して推
奨しています。ロゴは登録商
標です。

車載用スピーカー

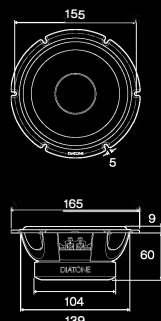
DIATONE SOUND. NAVIで、そのポテンシャルはさらなる高みへ。

DS-G20のポテンシャルを、さらに引き出すカーナビがあります。それは、「DIATONE SOUND. NAVI」。DIATONEが持つ音響技術とハイエンドカーオーディオに匹敵する調整機能を惜みなく搭載することで生み出されるピュアサウンドは、DS-G20との組み合わせによって、さらなる次元へと飛躍します。ぜひ、あなたのクルマで、感動音質の世界を堪能してください。



外形寸法図

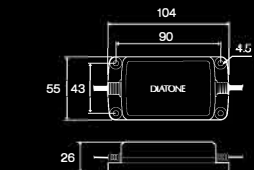
[ウーファー]



[トゥイーター]



[ネットワーク]



仕様

	[トゥイーター]	[ウーファー]
口径(構成)	30mm(NCVドーム&コーン型)	160mm(NCVコーン型)
瞬間最大入力	100W	120W
定格入力	40W	45W
使用可能周波数帯域	1.5kHz~60kHz	60Hz~8kHz
出力音圧レベル	89dB/W/m	90dB/W/m
インピーダンス	4Ω	4Ω
外形寸法	φ39.5mm×23.5mm	φ165mm×69mm
質量	60g	1240g
	[ネットワーク(トゥイーター用)]	[ネットワーク(ウーファー用)]
クロスオーバー周波数	3kHz	3kHz
減衰スロープ	High Pass 12dB/oct (W)54×(H)26×(D)104mm	Low Pass 12dB/oct (W)54×(H)26×(D)104mm
外形寸法		
質量	約113g	約155g



DS-G20



2台1組希望小売価格
60,000円(税別)

※当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に上記ロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

(DS-G20取付にあたっての注意)

DS-G500のウーファースのアウトバツプルおよびネット、トゥイーターのダイレクターにつきましてはDS-G20では使用できません。

【保証書に関するお願い】

●商品には、保証書を添付しております。ご購入の際は必ず保証書をお受け取りの上、保存してください。尚、店名、ご購入期日の記載のないものは無効になります。

【安全に関するご注意】



正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」と「取付要領書」をよくお読みください。運転の妨げとなる場所や水、湿気、ほこり、油煙の多い場所に設置しないでください。事故、火災、感電、故障等の原因となることがあります。

本カタログ掲載商品の希望小売価格には配送・設備調整・据付工事等に要する費用等は含まれておりません。

- 製品写真の色は実物とは若干異なる場合がございます。
- 「DIATONE」「ダイヤトーン」は三菱電機の登録商標です。



三菱電機車載用DIATONEウェブサイト
www.MitsubishiElectric.co.jp/car-diatone



スマートフォンから*
※二次元コードの読み取りに対応したスマートフォンをお持ちの方は、こちらから製品ページへアクセスできます。

家庭から宇宙まで、エコチェンジ。

eco changes

「eco changes」は、家庭・オフィス・工場から社会インフラ、そして宇宙にいたるまで、幅広い事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していく、三菱電機グループの環境ステートメントです。

いい音にこだわる、すべての人たちへ…。DIATONE 総合情報ウェブサイト

「CLUB DIATONE」

www.MitsubishiElectric.co.jp/club-diatone

CLUB DIATONE

検索

スマートフォンから*
※二次元コードの読み取りに対応したスマートフォンをお持ちの方は、こちらから製品ページへアクセスできます。



三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

カタログのご請求先
三菱電機カーインフォメーションセンター



0120-182710

9:00~17:30(土・日・祝日・弊社の休日は除く)